

《企業紹介》

同社はベトナム国内首位級の不動産事業を中核とする企業集団である。国際的競争力のある水準のサービスによって、ベトナムでは確固たるブランドを構築している。事業領域拡大に積極的で、ホテルやリゾートの開発・運営を中心としたホスピタリティ事業、高度医療サービスを中核としたヘルスケア事業のほか、EV（電気自動車）の生産販売を中核とする産業事業を傘下に持つ。

《2025 年 12 月期決算》

2025 年 12 月期の営業収入は前期比 76.0%増の 332.7 兆 VND（ベトナムドン）だった。所得水準向上と金利の低位安定によって住宅需要が回復しつつあることから不動産開発・販売事業の営業収入は同 93.6%増の 180.3 兆 VND となった。EV（電気自動車）の納車台数が同 102%増の 19.6 万台、電動スクーターの納車台数が同 473%増の 40.6 万台となったことから産業事業の営業収入は同 72.4%増の 92.1 兆 VND となった。なお、子会社売却により不動産賃貸事業の営業収入はなくなった。

税前利益は同 57.1%増の 26.3 兆 VND だった。

不動産開発・販売事業の税前利益が同 83.4%増の 64.1 兆 VND となって全体を牽引した。一方、産業事業の税前損益の赤字は前期の 41.9 兆 VND から 65.0 兆 VND へ拡大した。依然として生産体制構築や販売ネットワーク増強などの先行投資負担が重いうえ、価格競争激化によって採算の改善は進んでいないようだ。また、資産売却益などによって構成される配賦不能利益が同 12.8%減の 18.2 兆 VND となった。税引後利益は同 111.3%増の 11.1 兆 VND となったが、小数株主持分控除額の戻入額が前期の 6.6 兆 VND から 2.2 兆 VND に減少したため、純利益は同 13.0%増の 13.4 兆 VND となった。

《2025 年 10－12 月期業績》

2025 年 10－12 月期の営業収入は前年同期比 162.5%増の 163.1 兆 VND だった。販売が好調だった不動産開発・販売事業の営業収入が同 265.9%増の 102.0 兆 VND と大幅な増収となったことが貢献した。産業事業の営業収入は、EV（電気自動車）の納車台数が同 63%増の 8.6 万台、電動スクーターの納車台数が同 452%増の 17.1 万台となったことから同 63.6%増の 14.6 兆 VND となった。その他の事業も、堅調な国内消費活動（旅行やレジャー需要増加）やベトナムを訪れる外国人の増加によってすべて増収となっている。

図表1 年間業績の推移（単位 十億VND）

	2021年 12月期	2022年 12月期	2023年 12月期	2024年 12月期	2025年12月期	
					332,770	前期比 (%)
営業収入	125,688	101,523	161,428	189,068	332,770	76.0
不動産開発・販売	79,452	54,861	94,374	93,146	180,336	93.6
不動産賃貸	5,976	8,112	9,487	3,454	-	-
ホスピタリティ	3,814	7,532	9,001	8,736	11,769	34.7
ヘルスケア	2,926	4,480	4,514	4,619	5,554	20.2
教育	2,254	3,760	5,127	5,955	6,692	12.4
産業	18,071	13,564	28,770	53,441	92,115	72.4
その他	17,727	15,071	23,141	33,015	44,712	35.4
連結調整	-4,533	-5,856	-12,987	-10,206	-8,407	-
税前利益	3,146	12,694	13,769	16,739	26,300	57.1
不動産開発・販売	38,528	24,483	32,550	34,978	64,164	83.4
不動産賃貸	1,866	3,514	4,858	2,050	-	-
ホスピタリティ	-10,880	-5,902	-4,716	-1,487	-220	赤字縮小
ヘルスケア	-1,242	-664	-734	-897	-638	赤字縮小
教育	-272	26	583	629	449	-28.7
産業	-23,022	-33,254	-33,958	-41,996	-65,058	赤字拡大
その他	-2,024	171	1,160	2,564	9,668	277.1
連結調整	125	-	-204	15	-265	-
配賦不能損益	68	24,319	14,229	20,868	18,202	-12.8
税引後利益	-7,558	1,982	2,056	5,276	11,146	111.3
純利益	-2,514	8,352	2,157	11,903	13,446	13.0

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260206

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ビンググループ(VIC)



税前利益は同 104.1%増の 11.1 兆 VND だった。不動産開発・販売事業の税前利益が同 173.2%増の 38.9 兆 VND となって全体を押し上げた。産業事業の税前損益の赤字額は前年同期の 13.9 兆 VND から 21.4 兆 VND へ拡大している。4－6 月期に前四半期比で税前損益の赤字額が減少したが、7－9 月期、10－12 月期と連続で赤字額が拡大している。採算の改善はあまり進んでいない様子が窺える。税引後利益は同 196.6%増の 3.5 兆 VND、小数株主持分控除額の戻入があったため、純利益は同 208.7%増の 6.7 兆 VND となった。

図表2 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年 10-12月期	2025年 1-3月期	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年10-12月期	前年同期比 (%)
営業収入	62,152.4	84,053.3	46,312.3	39,245.3	163,159.4	162.5
不動産開発・販売	27,885.5	55,275.3	15,208.0	7,807.8	102,044.8	265.9
不動産賃貸	333.9	-	-	-	-	-
ホスピタリティ	2,104.7	2,514.7	2,806.9	3,231.8	3,215.4	52.8
ヘルスケア	1,323.0	1,223.4	1,355.9	1,353.6	1,621.2	22.5
教育	1,843.9	1,830.1	1,374.3	1,407.6	2,080.1	12.8
産業	25,242.0	15,702.9	17,300.4	17,807.6	41,304.2	63.6
その他	8,932.3	9,338.5	10,244.9	10,470.5	14,658.0	64.1
連結調整	-2,421.4	-1,831.6	-1,978.1	-2,833.6	-1,764.1	-
税前利益	5,446.9	7,381.9	3,661.9	4,024.4	11,116.8	104.1
不動産開発・販売	14,260.4	19,372.4	5,182.2	648.0	38,961.7	173.2
不動産賃貸	390.1	-	-	-	-	-
ホスピタリティ	-665.0	-231.2	199.3	97.0	-285.0	-57.1
ヘルスケア	-130.5	-217.8	-178.5	-112.5	-129.5	赤字縮小
教育	269.4	448.0	-100.0	-169.7	270.5	0.4
産業	-13,981.6	-12,996.2	-11,450.9	-19,146.7	-21,464.6	赤字拡大
その他	1,325.2	2,938.6	1,999.7	1,711.5	3,017.9	127.7
連結調整	-130.0	86.3	-733.7	405.9	-23.9	-
配賦不能損益	4,094.5	-2,018.2	8,743.9	20,706.1	-9,230.1	赤字転落
税引後利益	1,207.5	2,243.3	2,265.4	3,025.3	3,581.3	196.6
純利益	2,192.4	6,978.8	-581.0	640.2	6,768.4	208.7

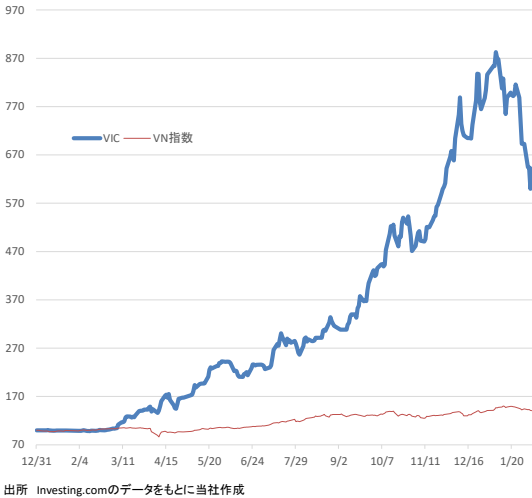
注 四半期の売上高、税前利益、税引後利益は一部非監査の決算数値を用いている。セグメントの合計と差異が生じる場合がある
出所 会社資料をもとに当社作成

《株価の動向》

同社の株価と VN 指数を 2024 年末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 3 である。同社の株価は、2026 年の年初まで大幅な上昇が続き、VN 指数をアウトパフォームしていたが、その後は下落に転じ、パフォーマンス格差は急速に縮小している。2 月 5 日時点で VN 指数が 2024 年末比 41%の上昇となっているのに対し、同社の株価は同 542%の上昇 (6.4 倍) となっている。2 月 5 日の終値 130,100VND で計算した時価総額は 501.2 兆 VND であり、この水準は 2025 年 12 月実績の純利益 13.4 兆 VND の 37 倍となっている。

産業事業の赤字をその他の事業がカバーするという構図に変化はみられず、産業事業の収益力改善も進んでいない。ベトナム株式市場の格上げに絡み、時価総額の大きな同社株式の需給関係がひっ迫するのではないかという思惑や、不動産開発事業の中長期的な成長期待が高まったことが株価パフォーマンスにポジティブな影響をもたらしたとみられるが、好調なパフォーマンスが続くためには、産業事業と不動産開発・販売事が両輪となった利益成長への期待が高まる必要があるだろう。

図表3 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260206

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。